

畜産業での活用例（用途：コンポスト・脱臭関連・土壌改良材）

実例	用途	場所 (期間)	対象 (形態)	使用前	バイオトップサンド 実施内容	効果	現在の様子
①	脱臭	愛知 (2006 年 4月～)	養豚 (縦型)	- 豚糞臭気をおが粉に接触 - 非常に強い臭気が問題 (NH₄ 値：700～1300ppm) 	豚糞臭気をバイオトップサンド（ペレット）に接触 	臭気が大きく低減	19年以上臭気低減維持 - 解砕などの簡易的なメンテナンスだけでこの先も良好を維持できる
②	脱臭・コンポスト	三重 (2007 年 4月～)	養豚 (平積み)	- 豚糞(35%)と籾殻(65%)で堆肥化 - 発酵が悪く、農地に使用できるまで8カ月要する - 堆肥としての出来が悪い - 強い臭気に対して近在から苦情が多発	バイオトップサンド（黒土）を豚糞に対し5%添加（粉末顆粒は1%で可） 	3カ月で堆肥完成（1ヶ月半で出荷可能）臭気低減	18年以上臭気低減維持 - 臭気の苦情は無い - 堆肥はプレミアム価値が付くほど人気となる 
③	脱臭	中部圏 24 社 (2020 年 10月～)	養豚	- 臭気に対する苦情があり、現状に満足できない - 様々な脱臭剤にて対策を試みたが、十分な効果が得られず	- 配合飼料メーカーにて餌に0.1%～0.2%添加し配合 - 養豚農家にて給与開始	- メーカーの試験により臭気50%以上低減 硫化水素70%以上低減 - 育成効果あり	- 臭気の苦情は無い - 飼料要求率の改善 - 畜産成績向上 - 堆肥が人気商品になる